

**製品名: CRMP1 (17O10) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe09411**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.43mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	62,74kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CRMP1
別名	CRMP 1; Crmp1; DPYSL1; DRP1; ULIP-3; Ulip3;
遺伝子 ID	1400.0
SwissProt ID	Q14194
免疫原	ヒト CRMP1 の合成ペプチド

**背景**

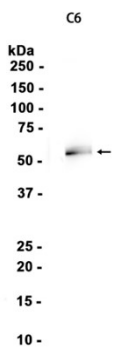
クラス 3 セマフォリンによるシグナル伝達とそれに続く細胞骨格のリモデリングに必要。軸索誘導、浸潤性増殖、細胞遊走に関与。

クラス3セマフォリンによるシグナル伝達とそれに続く細胞骨格のリモデリングに必要 (PubMed:25358863)。軸索誘導に関与 (PubMed:25358863)。軸索誘導過程において、SEMA3Aの下流で作用し、FアクチンからのFLNAの解離を促進し、アクチン細胞骨格の再編成と成長円錐の崩壊を引き起こす (PubMed:25358863)。浸潤性増殖および細胞遊走に関与 (PubMed:11562390)。細胞質分裂に関与する可能性がある (PubMed:19799413)。

## 研究分野

-

## 画像データ



CRMP1 (17O10) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した C6 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。